



2022年7月11日

株式会社 阿波銀行

株式会社森田組の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社森田組（代表取締役 森田 治、本社：愛媛県松山市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|-----------------------|
| 企業名 | 株式会社森田組 |
| 所在地 | 愛媛県松山市北井門四丁目 19 番 3 号 |
| 代表者 | 森田 治 |
| 業種 | 土木工事業 |
| 設立 | 1990 年 11 月 14 日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月11日



株式会社森田組 代表取締役 森田 治

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール | |
|-------|---------------|---|--|----------|--|
| 社会・経済 | 職場の安全衛生の向上 | 労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。 | ①(1)安全衛生に関する研修（ヒヤリハット研修、禁煙教室等）の実施 (2)安全衛生パトロールの実施 | | |
| | | | ②(1)年 1 回実施 (2)月 1 回実施 | | |
| 社会・経済 | 働きがい | 社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働き甲斐を感じられる環境を目指します。 | ①(1)資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備 (2)業績上位者への表彰制度の導入 (3)社員のキャリア面談の実施 | | |
| | | | ②(1)50%以上の社員が利用 (2)3年に1回1名表彰 (3)年1回キャリア面談実施 | | |
| 環境・社会 | 環境問題の認識・理解の推進 | 環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。 | ①(1)従業員に対する、ポスター提示やパンフレット配布等による普及・啓発 (2)従業員向け教育・研修の定期的な実施 (3)従業員参加型の環境保全活動 | | |
| | | | ②(1)年 4 回実施 (2)年 1 回実施 (3)年 4 回地域清掃活動実施 | | |
| 社会・経済 | SDGsの取組みの表明 | 会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。 | ①(1)SDGs推進施策・目標の設定、モニタリングの実施 (2)SDGsの取組みをホームページで開示 | | |
| | | | ②(1)年 1 回モニタリング実施 (2)2023年までに自社HPにて情報開示 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。